

ネイチャーウォーク

平成 28 年 10 月号

2016. 10. 23 発行

(通巻第 274 号)

ECO SAITAMA 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

：部会：自然を歩く会

■先月のネイチャーウォーク

丹荘から金鑽神社へ (残暑でもしっかりと歩くザンショ！)

(JR 八高線 丹荘駅～朝日バス 新宿バス停)



27 名の参加がありました



さびしくなった丹荘駅

今回のネイチャーウォークは埼玉県最北部、八高線丹荘駅から金鑽神社を目指すコースです。前回(2006年)、丹荘駅から出発した時には、気さくな駅長さんがいましたが、いつしか無人化され、すっかりさびしい駅となっていました。残念！



砂利の敷かれた駅裏の空き地…
むむっ、これは…廃線跡！

出発していきなり駅の裏手でストップ。砂利の敷かれた空地の由来をスタッフが説明します。ここはかつて、丹荘駅から鬼石方面に伸びていた上武鉄道(昭和17年開業、61年廃止)の跡地だったところ。ユル～いカーブの砂利道は、昔の線路跡だった可能性が大です。みなさん、モットーは「下を向いて歩こう」ですゾ。



このあたりのネギは深谷？下仁田？

さて、進路を西に向けて歩き出します。このあたりは典型的な農村地帯。さまざまな野菜が栽培されていました。田んぼではなく野菜畑と言うのは、土の条件が関係しているのでしょうかね。ところで、この日、高校生とすれ違った以外には誰にも出会いません。一体どうしちゃったんだろう。まだ寝ているの？地域の運動会にでも出かけているの？推理は尽きません。



養蚕業の名残をとどめるクワの木



六地藏はそれぞれ持っているものがちがうのですね



関東平野ののどかな田舎道を歩きます

やがて、一面の水田地帯へ。やはり土の関係？とか考えつつ平坦な道を歩きます。でも目の前に山が迫ってきました。そう、ここが「関東平野」の終わり。この先は「関東山地」へと入っていきます。関東平野の「へり」を実感しながら歩くなんて、なかなかない体験ですよ。やがてコースは山道へ。さまざまな動物が出てきましたよ。



いつしかコースは関東山地へ



元スタッフ0に捕えられた0カマキリ？

9月下旬とはいえまだまだ残暑がきびしく、昼が近づいたこともあって、坂を上る参加者の皆さんも少々バテ気味。坂道の途中にあった飲み物の自動販売機が大人気でした。ここに自販機を設置した人は、商売の才能あるのかも。やがて、金鑽神社の鳥居が見えてきました。

やっと着いた～！



ようやく金鑽神社に到着



今回は1名の方にWalk認定証が贈られました

山の斜面にたたずむ、ピカピカに光っている岩、これが鏡岩です。これは、かつての地殻変動で断層ができ、固い岩どうしがこすれながらずれたために、岩の表面が磨かれたもの。約1億年の間輝き続けています。生きものはさっぱりだけど地層のことならドンとこいというスタッフの説明はどどまるところを知りませんでした。このあと下山し、バスで寝ながら帰宅となりました。



青いしっぽのニホントカゲもこんにちは

境内ででお昼ごはんの後は、恒例の表彰式です。

今回は1名の方にWalk認定証が贈られました。おめでとうございます！

ここで帰路についても良かったのですが、参加された皆様からの希望も多かったため、もうひと登りして「鏡岩」を見に行くこととなりました。



これが鏡岩です



鏡岩の由来を、ジェスチャーをまじえて熱く語るスタッフA (C大学地質学教室卒業)